

# 2020年度第2四半期連結業績概要

代表取締役社長兼 CEO

谷内 樹生

常務執行役員 経営管理担当兼 CFO兼 財務・管理本部長

越路 和朗

執行役員 製品開発本部 中国製品開発統括部長

森島 健司

2020年11月6日

# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なりリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

# 基本理念とWORLD VISION

## 基本理念

# 天機に参与する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するという  
ことを意味しています。\*

## WORLD VISION

# Happiness with Vision

世界中の一人ひとりが、Best Vision Experience を通じて  
それぞれの最も幸福な人生を実現する世界を創り出したい。

\* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

# 2020年度上期ハイライト

## ■ Santen 2030 実現に向けた中長期的施策の展開

- Ophthalmology & Wellness : jCyte社提携・Osmotica社提携・Orbis International (NGO) 提携・ヒアレインス発売 (①)・ROCK阻害剤導入 (②)・Eyevance社買収 (③)
- Inclusion : JBFA・IBF Foundationとの長期パートナーシップ

## ■ Vision 2020 最終年度の進捗

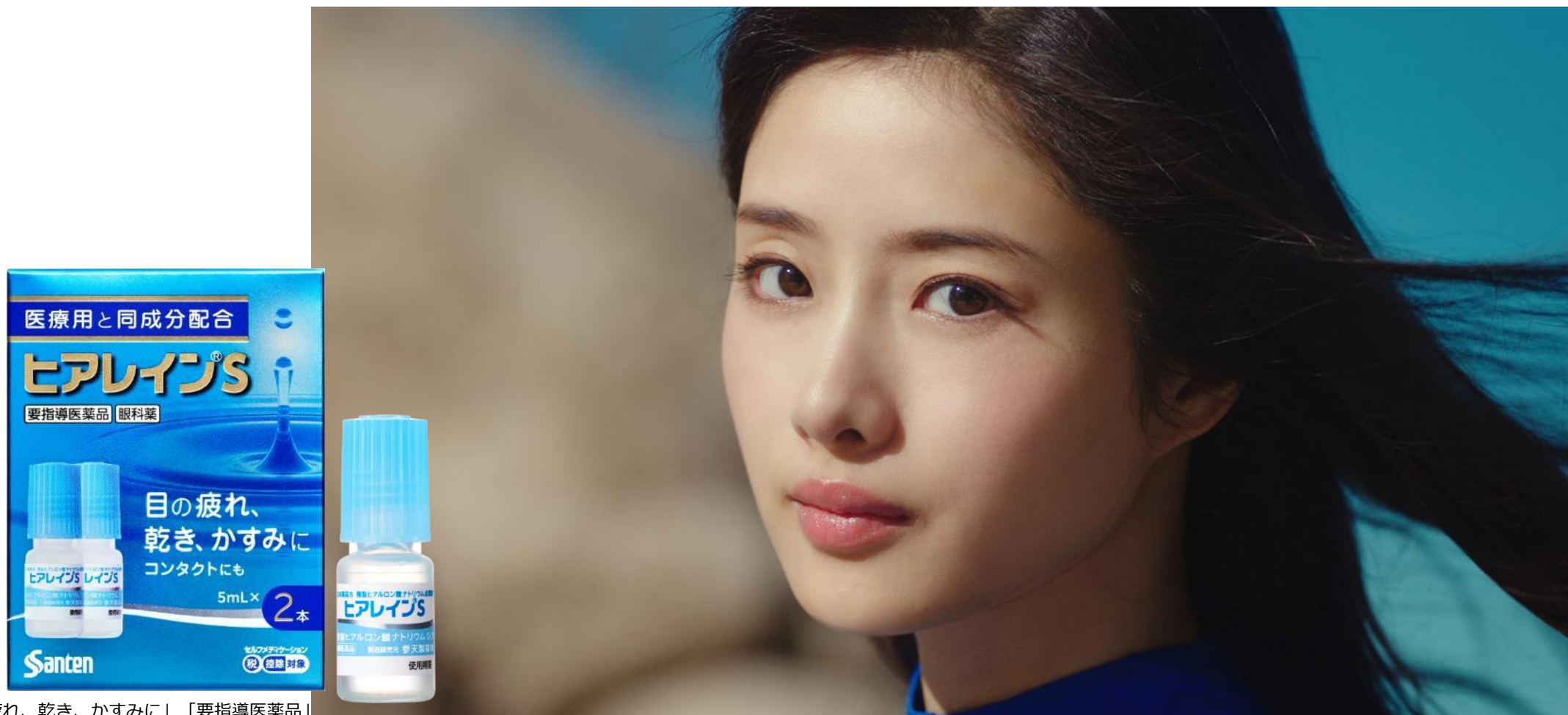
- 売上はCOVID-19影響から力強く回復しているが、依然変動要素を含む
- 中国は短期的にリスク要因はあるが、引き続き市場ポテンシャルは高い。  
統括会社も新たに設立し積極的に事業展開 (④)

## ■ 売上高：1,189億円・コア営業利益：257億円

- ほぼ前年並みの着地。通期業績予想は変更なし

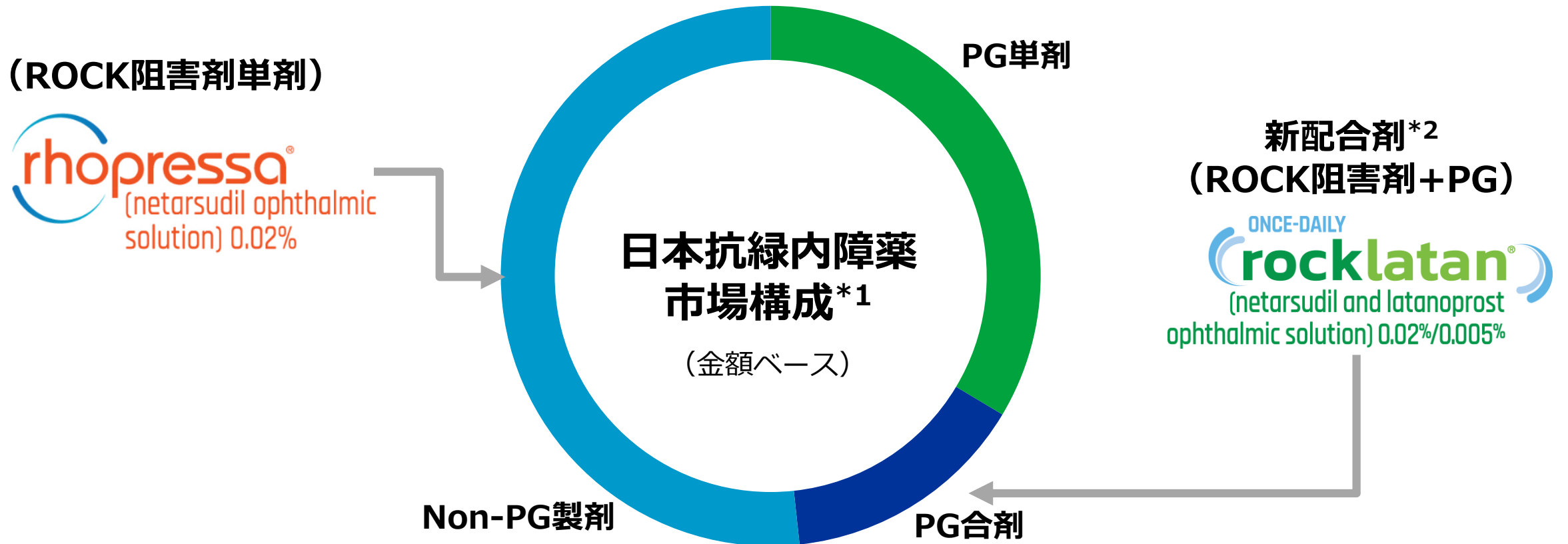
# ①スイッチOTC「ヒアレインS」発売

日本で唯一\*1医療用と同濃度の「ヒアルロン酸ナトリウム」を配合した目薬



「目の疲れ、乾き、かすみに」「要指導医薬品」  
この医薬品は、薬剤師からの説明を受け、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。

## ②日本・アジア地域を対象にROCK阻害剤を導入 中長期的に緑内障におけるプレゼンスの維持向上へ



# ② 今回のROCK阻害剤導入により 緑内障ポートフォリオのさらなる充実を図る

診断・治療・フォローアップ



薬物治療

手術

PG単剤



PG合剤



Non-PG製剤



ONCE-DAILY  
**rocklatan**<sup>®</sup>  
(netarsudil and latanoprost  
ophthalmic solution) 0.02%/0.005%

**rhopressa**<sup>®</sup>  
(netarsudil ophthalmic  
solution) 0.02%

### ③ Eyevance社買収により米国本格参入

#### 既存の米国事業 (R&D)

DE-128

DE-117

DE-126

DE-109

Verkazia



#### 商業基盤の獲得



45+

営業人員

5+

特徴的な前眼部製品

## 米国における事業基盤構築とプレゼンス獲得へ



# ④中国事業の持続的な成長：市場カバレッジ拡大

医療行動の多様化を確実に取り込むことで中長期的な成長を実現する

従来の主要医療施設

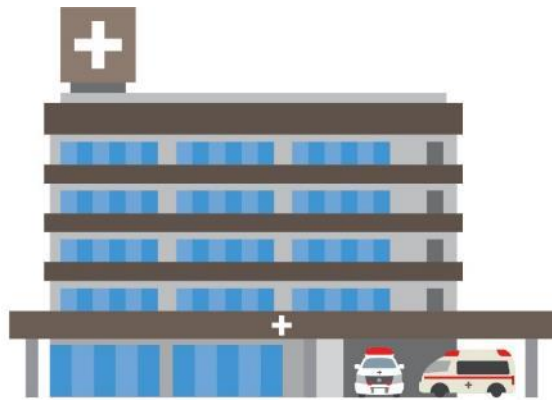


カバレッジの拡大



生活者へのリーチ

国立大型病院



クラビットの  
集中購買\*の影響あり

強化

私立病院



オンライン診療



開拓

薬局



e-commerce

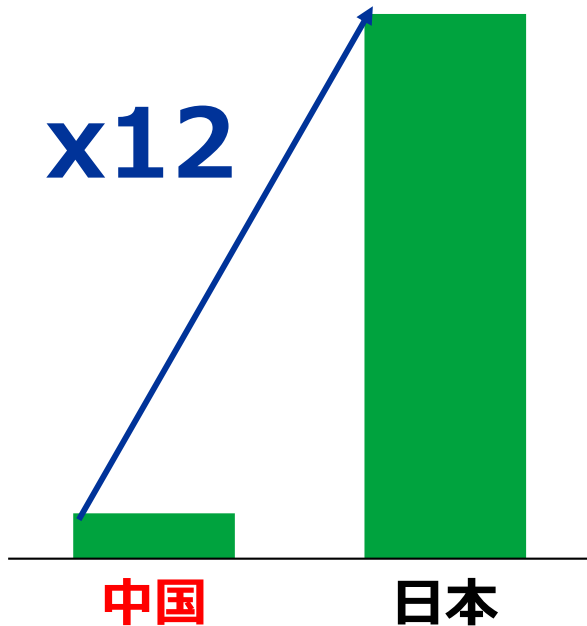


# ④中国事業の持続的な成長：緑内障市場の事例

エコシステム発展に関わることで市場の潜在性を確実に取り組む

## 現状

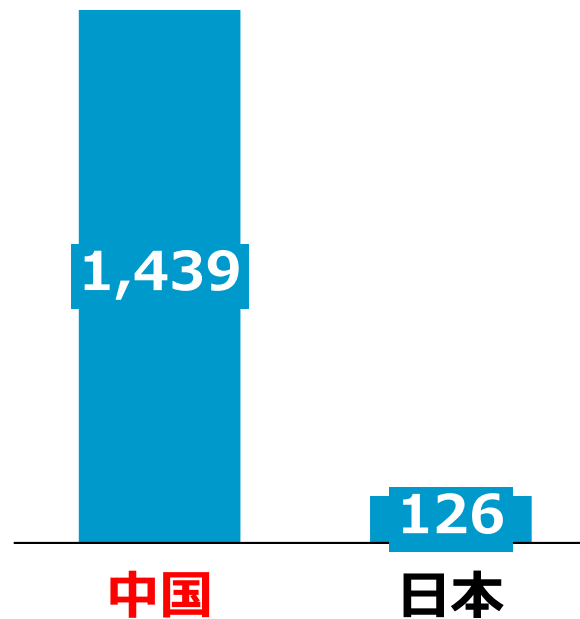
緑内障市場規模  
(金額ベース) \*1



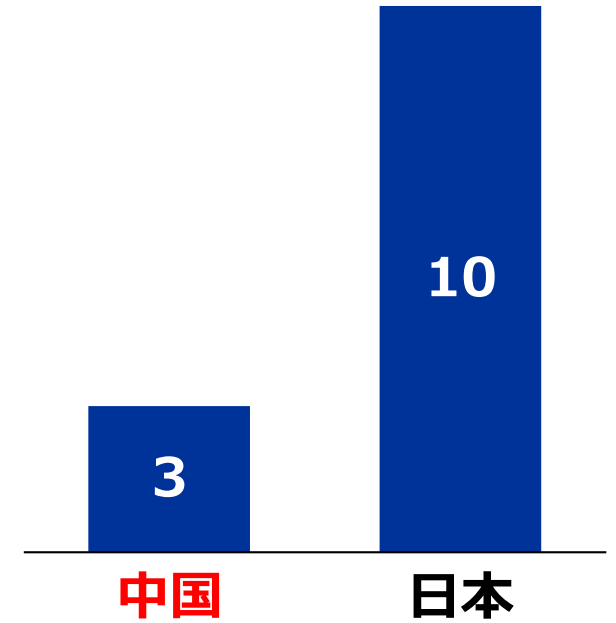
## エコシステムの発展による成長ポテンシャル



人口 (百万人) \*2



眼科医数 (人口10万人あたり) \*3



---

# 2020年度第2四半期 連結決算概要

---

# 2020年度第2四半期業績

COVID-19の影響はあるものの、前期比で増収増益

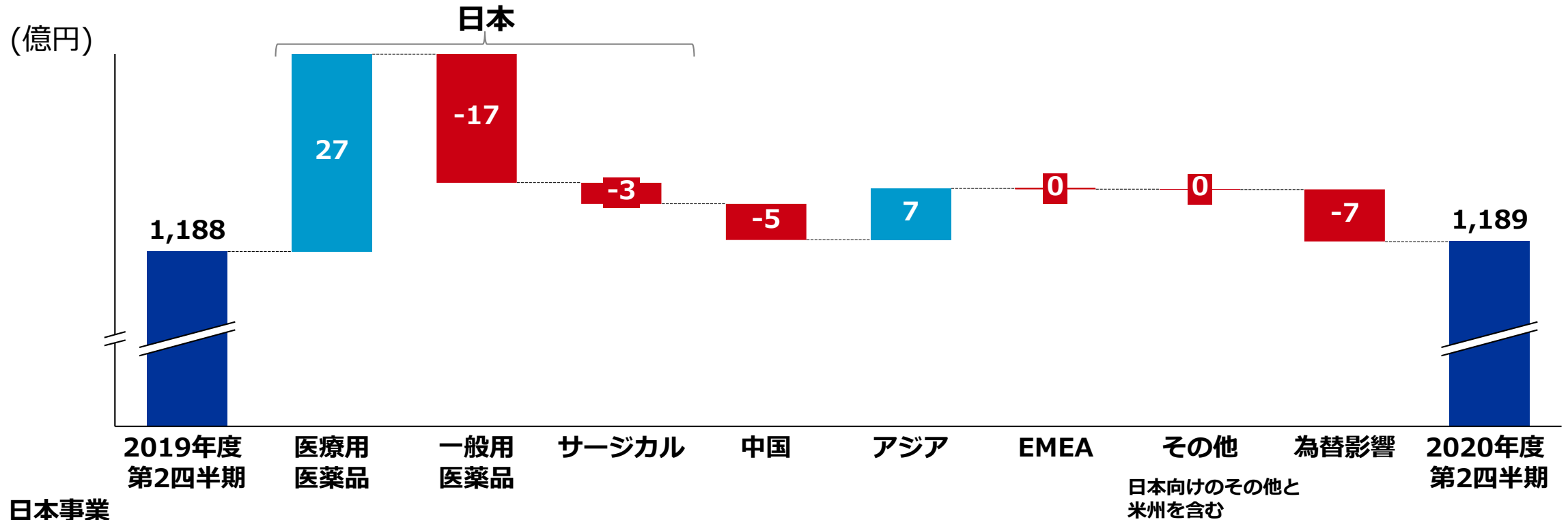
(単位：億円)	2019年度 第2四半期		2020年度 第2四半期		対前期 増減率
	実績	(対売上収益 比率)	実績	(対売上収益 比率)	
<b>売上収益</b>	<b>1,188</b>		<b>1,189</b>		<b>+0.1%</b>
売上原価	483	41%	497	42%	+2.9%
売上総利益	705	59%	692	58%	-1.8%
販売管理費	334	28%	324	27%	-3.1%
研究開発費	114	10%	111	9%	-2.5%
<b>コア営業利益</b>	<b>256</b>	<b>22%</b>	<b>257</b>	<b>22%</b>	<b>+0.2%</b>
ノンコア販売管理費	--	0%	9	1%	--
製品に係る無形資産償却費	49	4%	49	4%	-1.2%
その他の収益	2	0%	3	0%	+118.1%
その他の費用	19	2%	16	1%	-12.5%
営業利益(フルベース)	190	16%	187	16%	-1.7%
金融収益	5	0%	6	0%	+9.4%
金融費用	11	1%	9	1%	-21.2%
税引前四半期利益	184	15%	184	15%	-0.3%
法人所得税費用	53	4%	47	4%	-11.8%
(負担税率)	28.7%		25.4%		
<b>四半期利益 (フルベース)</b>	<b>131</b>	<b>11%</b>	<b>137</b>	<b>12%</b>	<b>+4.3%</b>
コア四半期利益	188	16%	197	17%	+4.7%
USD (円)	108.82		106.72		
EUR (円)	121.28		121.54		
CNY (円)	15.77		15.21		

## フルベース

- 売上収益：想定を上回り着地
- 四半期利益：前期比4%増益

# 2020年度第2四半期 売上収益（前年同期比）

COVID-19と為替の影響はあるものの、前期と同水準の売上を確保



## 日本事業

- 医療用医薬品：アイリーア\*やアレジオンLXの寄与により増収
- 一般用医薬品：COVID-19の影響（インバウンド需要減など）により減収

## 海外事業

- 中国事業：COVID-19の影響により減収（為替影響除き：-4%）となるも、想定を上回る売上推移
- アジア事業：COVID-19の影響を受けつつ、着実に進捗（為替影響除き：8%）
- EMEA事業：コンプトやタブロスが堅調に推移（為替影響除き：0%）

顧客の所在地をもとに国または地域に分類

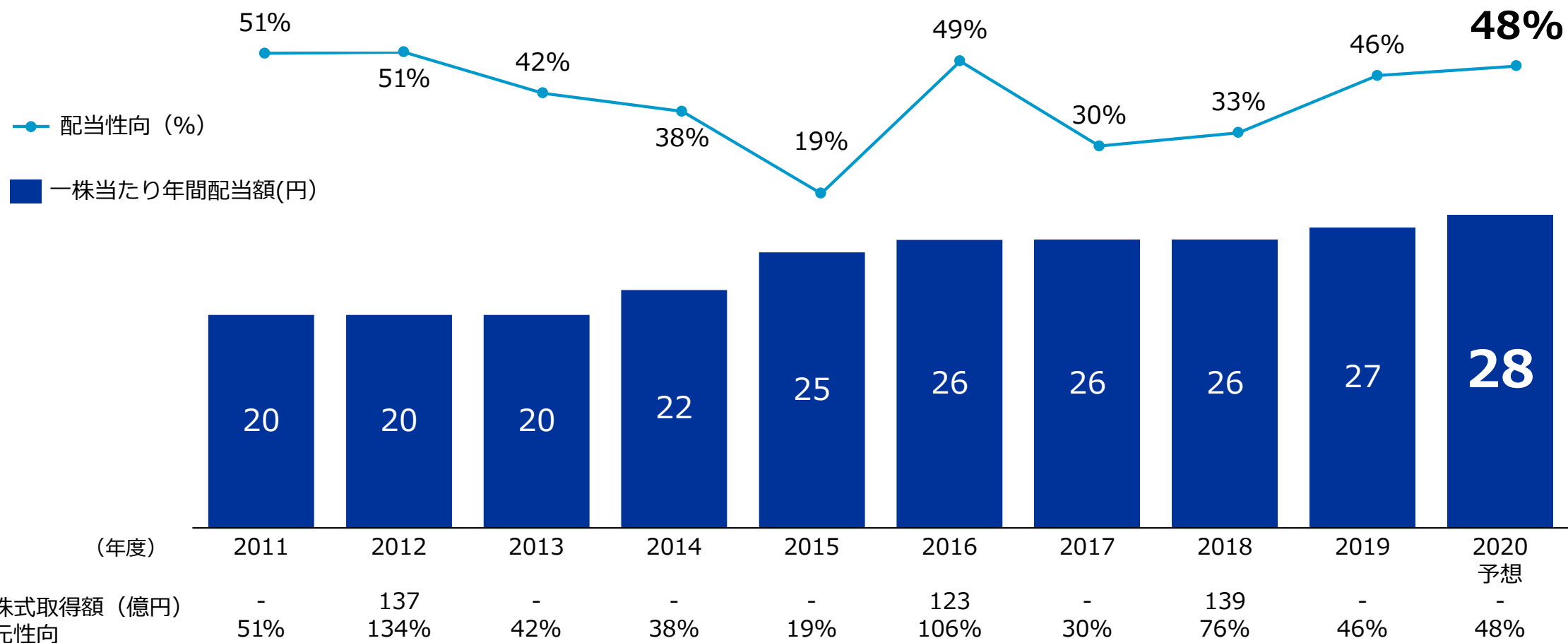
# 2020年度通期業績予想：5月8日開示から変更なし

不確定要素はあるものの、通期業績予想の達成を目指す

(単位：億円)	2019年度		2020年度		対前期 増減率
	実績	(対売上収益 比率)	予想	(対売上収益 比率)	
<b>売上収益</b>	<b>2,416</b>		<b>2,350</b>		<b>-3%</b>
売上原価	948	39%	900	38%	-5%
売上総利益	1,467	61%	1,450	62%	-1%
販売管理費	734	30%	700	30%	-5%
研究開発費	233	10%	230	10%	-1%
<b>コア営業利益</b>	<b>500</b>	<b>21%</b>	<b>520</b>	<b>22%</b>	<b>+4%</b>
製品に係る無形資産償却費	99	4%	97	4%	-2%
その他の収益	4	0%	9	0%	+131%
その他の費用	70	3%	82	3%	+17%
営業利益(フルベース)	335	14%	350	15%	+4%
金融収益	10	0%	8	0%	-16%
金融費用	24	1%	10	0%	-58%
持分法による投資損失	--	--	8	0%	--
税引前当期利益	321	13%	340	14%	+6%
法人所得税費用 (負担税率)	104 32.3%	4%	110 32.4%	5%	+6%
<b>当期利益 (フルベース)</b>	<b>217</b>	<b>9%</b>	<b>230</b>	<b>10%</b>	<b>+6%</b>
コア当期利益	359	15%	387	16%	+8%
ROE (コアベース)	12.1%		12.6%		--
ROE (フルベース)	8.0%		7.5%		--
USD (円)	108.81		110.00		
EUR (円)	120.80		120.00		
CNY (円)	15.64		15.00		

# 配当

年間配当（予想）は変更なし



2020年度予想総還元性向については、自社株買いの可能性を含まず  
2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

---

# 研究開発の現状

---



# DE-127: APPLE study/P2 (NCT03329638)

高用量0.005%、0.01%ともに、近視の進行を抑制する効果を示した

- **主要評価項目達成**

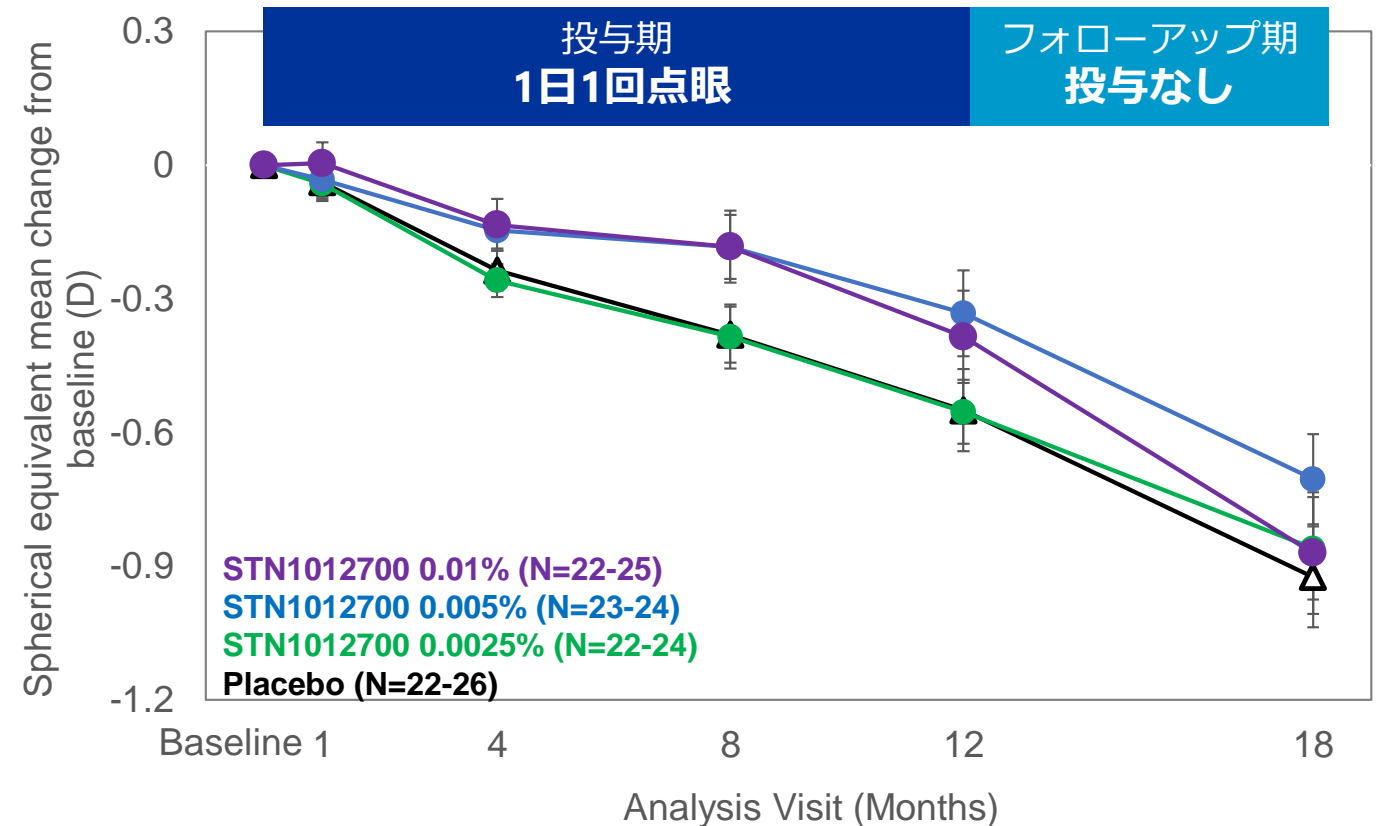
12カ月での等価球面度数

- **眼軸長においても等価球面度数と同様の結果が認められた**

- **安全性・忍容性が認められた**

- **日本近視学会総会**で詳細報告予定  
(2021年5月22~23日、東京)

他覚的等価球面度数 (D) \*のベースラインからの変化  
(平均±標準誤差)



# 研究開発の現状

## パイプライン/製品の開発状況①

(2020年10月現在)  
下線部は更新情報。

	効能・効果	開発地域	開発状況
<b>DE-111</b> STN10111 タブコム / タブティコム タフルプロスト・ チモロールマレイン酸塩配合剤	緑内障・ 高眼圧症	中国	現状：P3 計画：2022年度 P3終了
<b>DE-117</b> STN10117 エイベリス EP2受容体作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P3 計画：2020年度 申請
		日本	現状：上市
		アジア	現状：承認 計画：2020年度 上市
<b>DE-126</b> STN10126 FP / EP3受容体 デュアル作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P2b（至適用量探索完了） 計画：2020年度 追加P2開始
		日本	
<b>DE-128</b> STN20001 PRESERFLO MicroShunt	緑内障	米国	現状：市販前承認（PMA）の段階的申請完了 計画：2020年度 承認、2020年度 上市
		欧州	現状：上市
		アジア	現状：申請 計画：2020年度 承認
		その他	計画：2020年度 カナダで申請

# 研究開発の現状

## パイプライン/製品の開発状況②

(2020年10月現在)  
下線部は更新情報。

	効能・効果	開発地域	開発状況
<b>DE-130A</b> STN10130 Catioprost ラタノプロスト	緑内障・ 高眼圧症	欧州 アジア	現状：P3 計画：2021年度 P3終了
<b>DE-109</b> STN10109 シロリムス 硝子体内注射剤	ぶどう膜炎	米国 日本 欧州 アジア	現状：P3 計画：2022年度 P3終了 現状：P3 現状：P3 現状：申請
<b>DE-127</b> STN10127 アトロピン硫酸塩	近視	日本 アジア	現状：P2/3 計画：2023年度 P2/3終了 現状：P2（主要評価項目達成）
<b>MD-16</b> 眼内レンズ	白内障	日本	現状：承認 計画：2020年11月 上市

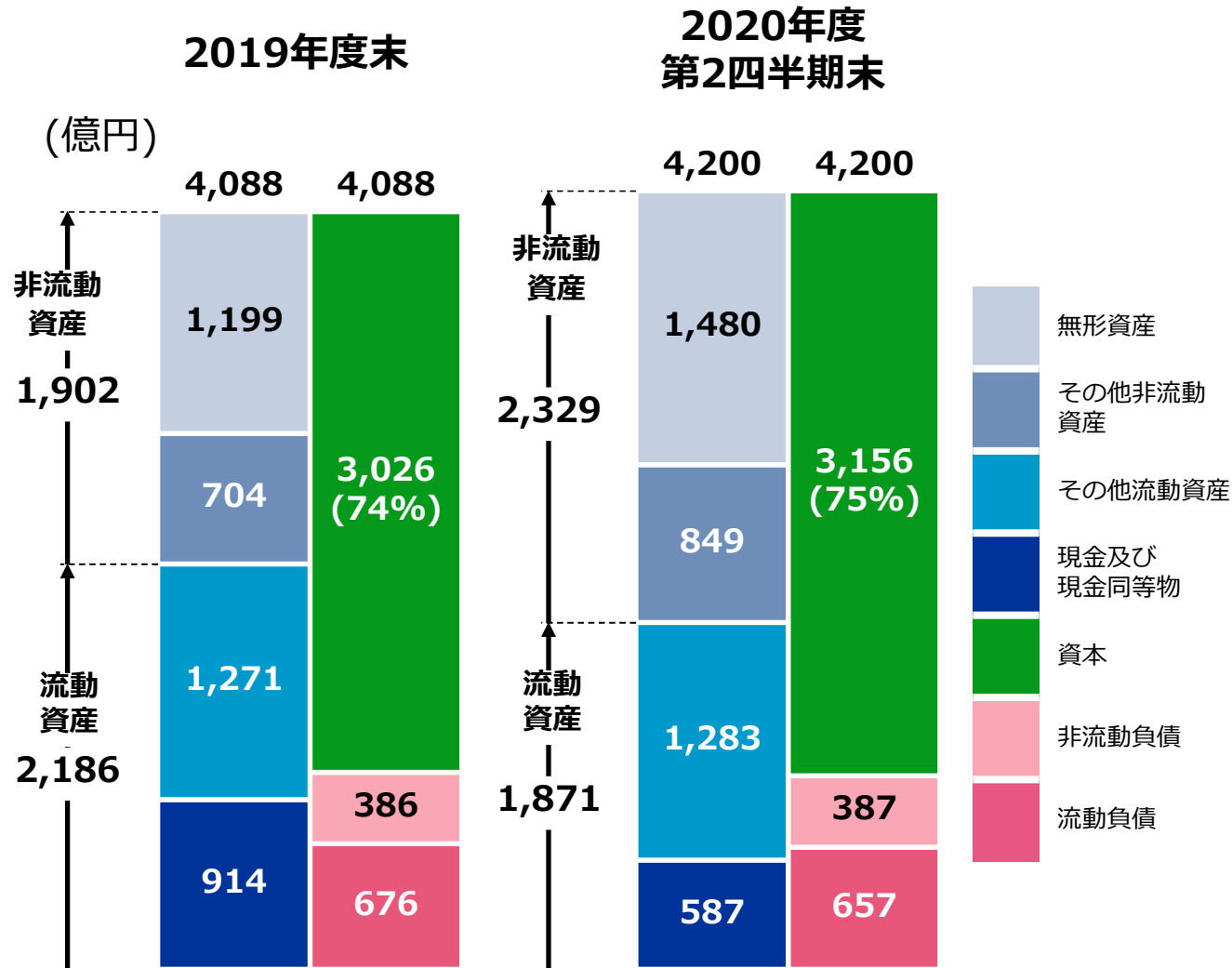
春季カタルを対象とするDE-076C (STN10076、Verkazia / 一般名：シクロスポリン) の新薬承認申請を、2020年10月に米国FDAが受理

---

# Appendix

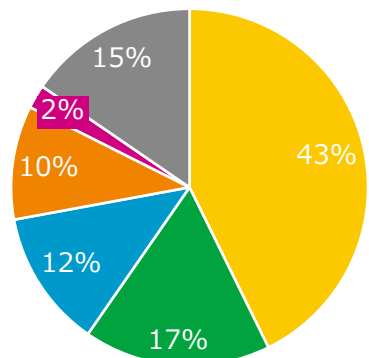
---

# 2020年度第2四半期 財政状態の推移



# 2020年度第2四半期 仕向地域別売上収益

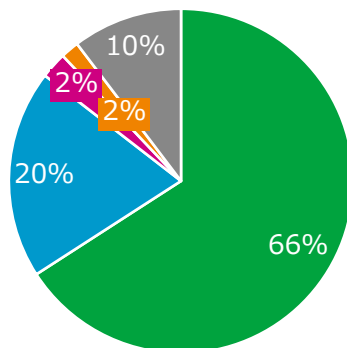
## 日本



アイリーア* 硝子体内注射液	333 億円
アレジオン点眼液 (LX含む)	77 億円
ジクアス点眼液	61 億円
その他	309 億円
合計	779 億円

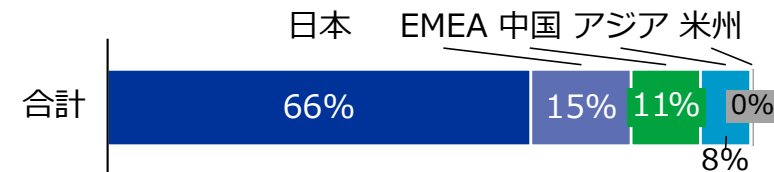
アイリーア\*：製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品

## EMEA

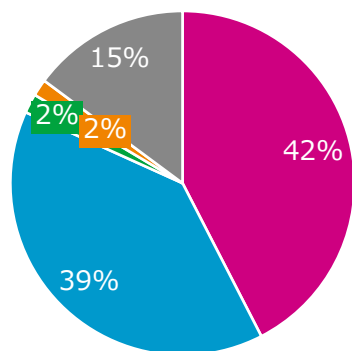


コソプト配合点眼液	48 億円
タブロス点眼液	33 億円
Ikervis	17 億円
その他	86 億円
合計	184 億円

## 主要国・地域別売上比率

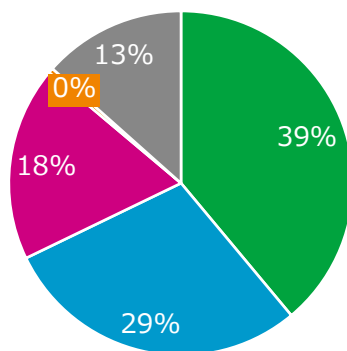


## 中国

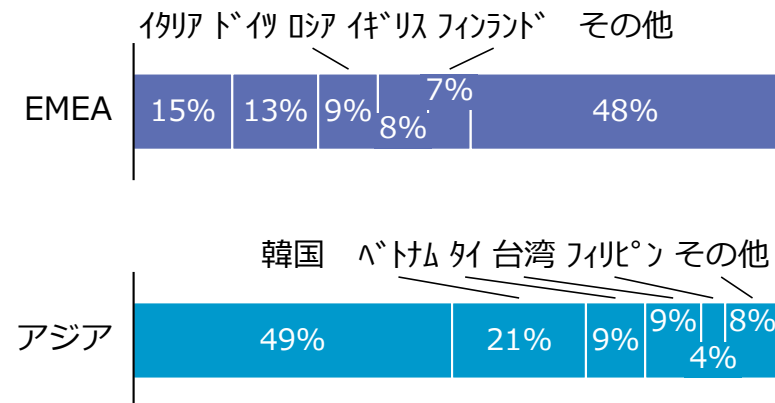


クラビット点眼液	49 億円
ヒアレイン点眼液	48 億円
フルメトロン点眼液	8 億円
その他	22 億円
合計	128 億円

## アジア



コソプト配合点眼液	21 億円
ヒアレイン点眼液	13 億円
クラビット点眼液	11 億円
その他	47 億円
合計	92 億円



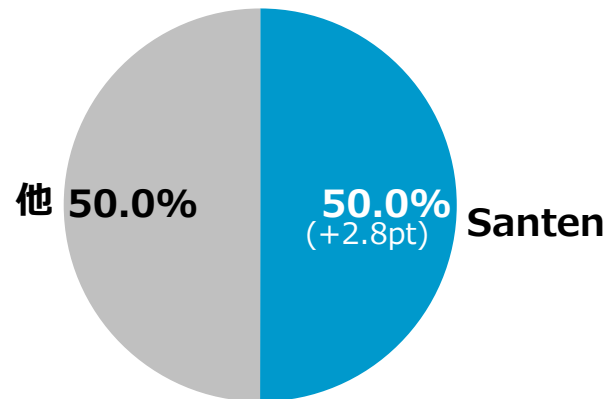
■ 眼科用抗VEGF阻害剤 
 ■ 緑内障治療薬/デバイス 
 ■ 角結膜疾患治療剤 
 ■ 抗アレルギー点眼剤 
 ■ 抗菌点眼剤 
 ■ その他

# 国内医療用眼科薬 市場概況（2019年10月-2020年9月累計）

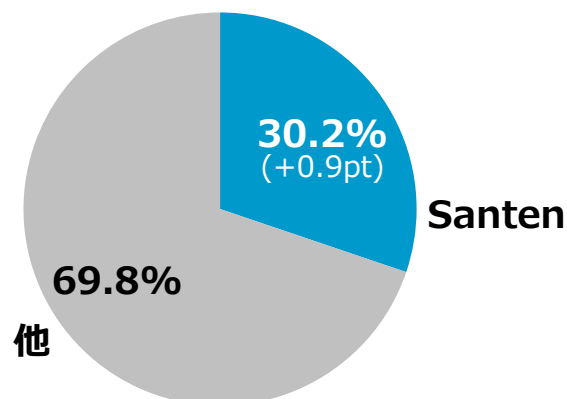
全ての領域において引き続きNo.1を維持

領域右記載数値：市場規模  
グラフ：マーケットシェア（括弧内は対前年増減）

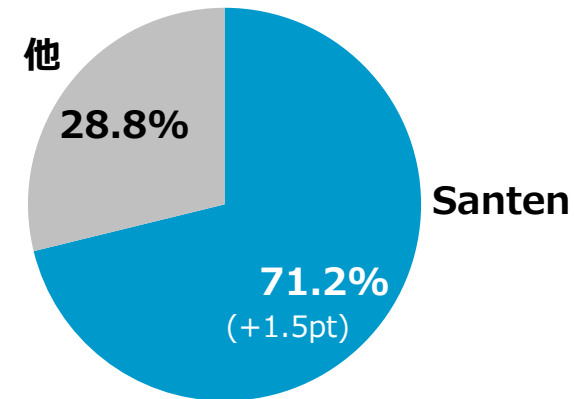
**Total : 3,689億円**



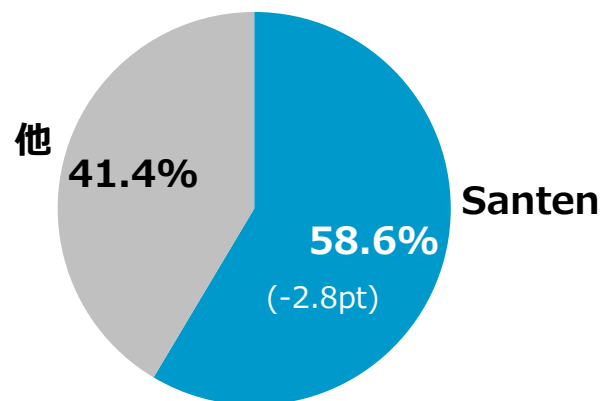
**抗緑内障剤 : 1,055億円**



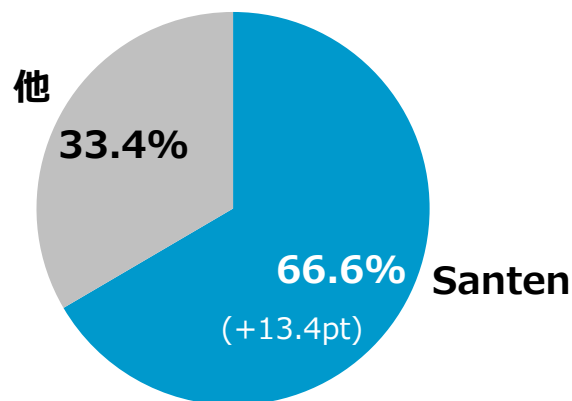
**網膜疾患治療剤\* : 1,061億円**



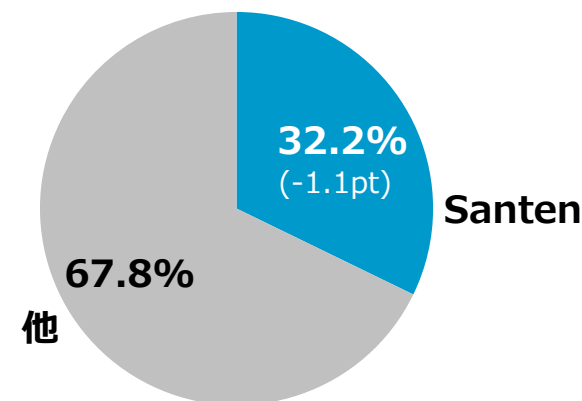
**角膜疾患治療剤 : 431億円**



**抗アレルギー剤 : 514億円**



**抗菌点眼剤 : 98億円**





**Imagine Your Happiness**

あなたのあしたを想う